

# 2013富士山周遊ドライブ10「第5話」

■ 第5日目(11/8 金)

西湖 本栖湖から身延山 久遠寺へ

ハッとして飛び起きたのは□am5時半であった。

「今朝の富士山は、どのように観えているのか?」... 昨夜から気になっていたのです。

窓のブラインドのスイッチを入れます... はやる気持ちをじらすかのように、ゆっくり・ゆっくりと、ブラインドがオープンしてゆきます。そして... 観えてきました!! 雲一つない真っ青な空に「雪化粧をした富士山」の姿です!! ... 感動の一瞬で~す!!



朝陽に赤く

染まって観えます。言葉がありません.....。



うっすらと「逆さ富士」が……。

湖面には、



しんしんと

冷え込んではいませんが、快晴無風で穏やかな素晴らしい朝です。

日の出は六時頃 今朝の最低外気温は2.6 だったと聞きました。

ほんとうに、言葉を失ってしまうほどに、今朝の富士山は最高に美しいです !!



ウインドブ  
レーカーを着込み、部屋のベランダからおよそ一時間、撮影にはまりました。  
河口湖の湖畔には、沢山の人が出ていて、それぞれに思い思いの記念撮影をしているのが見えます。



こうして、  
富士山に魅せられていると、何時の間にか7時を回っていましたね。  
我に返って、洗面やシャワーをして身支度を整え、2階のレストランへ出掛けました。



レストラン

でも、富士山が観える窓際の席に案内されたのです。



□今日のように

素晴らしい富士山は、地元に住んでいる者でもなかなかに出会えませんよ□

と、私たちが席に案内してくれた女性が、そう言ったのです。

こんな「富士山に出会いたい!!」と、わざわざ出掛けて来た私たちです。  
なので、何と幸運な朝かと思いました。

レストランの中には、朝陽がキラキラと降り注いでいます。

料理はどれも美味しいです !!...目の前で焼いてくれたオムレツがまた美味しい。



□朝陽に輝く富

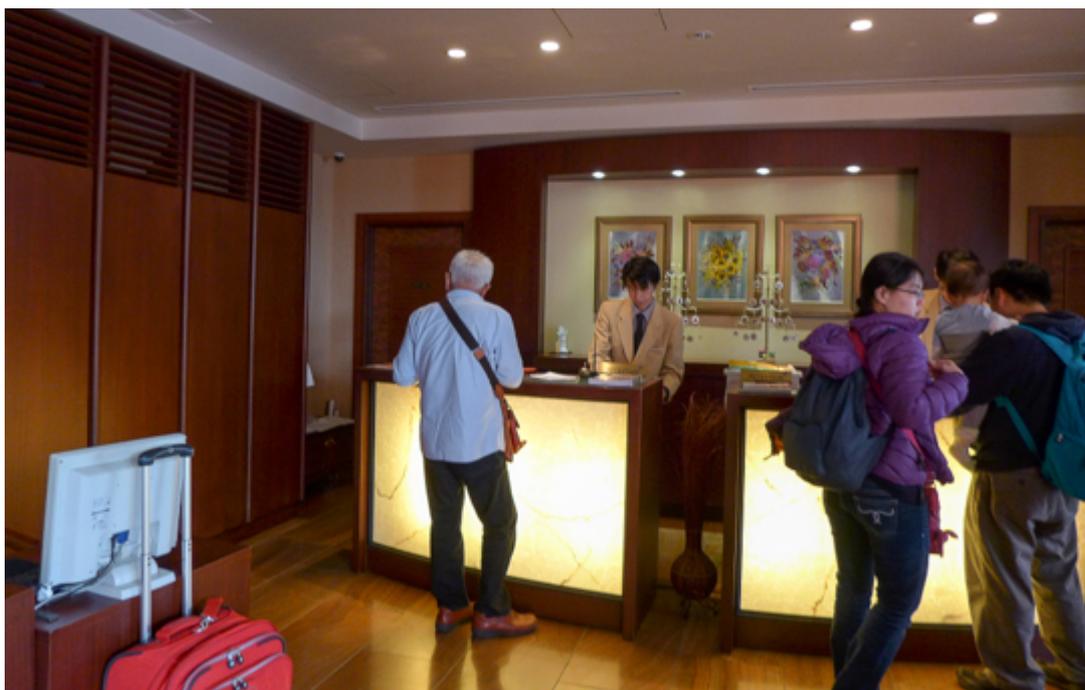
士山が、料理をなお一層美味しくしてくれています。



...今朝もま

た、ゆったりと流れる時の中で、嬉しい朝食を戴きました。

そして、ここ「風のテラス」を出発する8:30頃には、気温も上がって、上着が不要なほどの陽気になりました。



もう少しの間、このホテルでゆっくり過ごして、綺麗な富士山を眺めていたい... そんな思いでしたが、計画していた今日の行程のこともあり、後ろ髪を引かれる思いで出発です。

もう少しの



風のテラス

を 8:30ころに出発して、  
今日も富士山のスポット探しのドライブが始まりました。



西湖の向こ

うに富士山が観えてきました。





たのは「**西湖の・野鳥の森公園**」です。

始めに訪れ



富士山ばか

りでなく、「紅葉」が素晴らしく綺麗です。



これらの写真は

「西湖の・野鳥の森公園」です。



富士山の絶景撮影ポイントがあると聞いていたのですが ... 林の背が高くて、富士山の頭だけしか見えません。

富士山の絶



そんなこと

で、ここを早々に離れたのでした。

そして、およそ1キロメートルほど引き返したところに「西湖 いやしの里 根場」がありました。「根場」は「ねんば」と呼ぶそうです。

ここは、昔懐かしい「茅葺き民家」が20数軒建ち並ぶ集落となっています。





□日本の原風景

が蘇ったような、ここはかつて日本一美しい茅葺の集落だったと言われていました。過去 台風に遭い、壊滅状況となっていたこの集落を、今日のように復元されたと聞いています。



□この集落の茅

葺が、富士山とよく解け合っていると思いますが ..... 如何でしょうか??



綺麗な和紙

が売られていました。



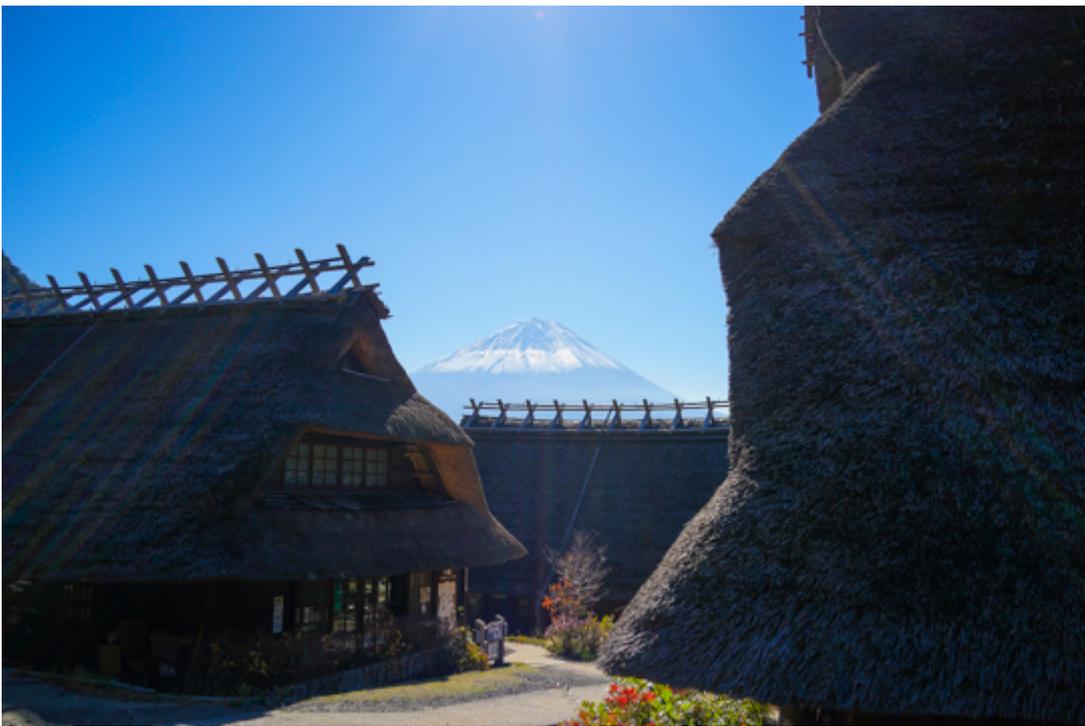


□この里に足を踏み入れれば、昭和の頃の時代にタイムスリップしたようです。ゆっくり腰かけて、とびっきりの富士山を望みながら、こころ癒される ..... そんな処ですね。



### □いやしの里

「根場□(ねんば) では、風景だけでなく、個々の建物で紙漉き、或は、つるし雛作りなどの体験や、食事、各種企画展も開催されています。  
なんだか、故郷に戻ったかのような、暖かな雰囲気です。



ひと休みに

と、高菜とあずきの餡入り饅頭を戴き、お茶にしました。  
... 饅頭は、ほっかほっかで美味しかったです。「下の写真はレンタカーです」



次に向かっ

たのは**本栖湖**です。

神秘的な瑠璃色の水をたたえと言われている本栖湖... そう言えばグリーンの綺麗な水の色をしています。



**ここ北側の展**

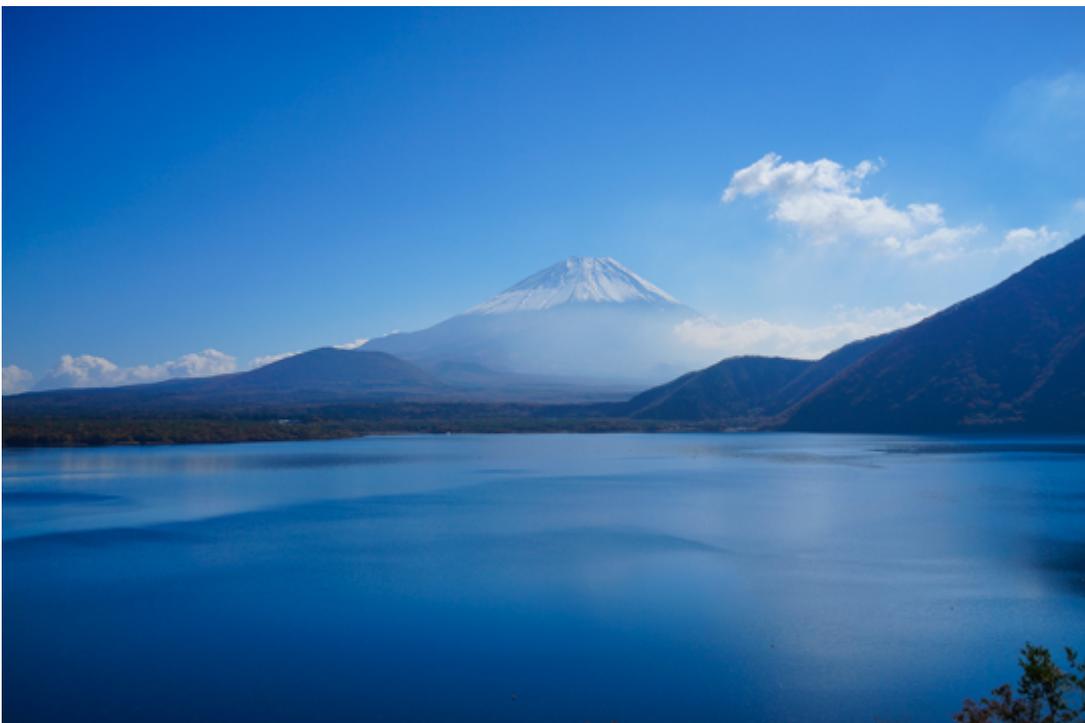
**望所からは、千円札の図柄となった絵に近い富士山の姿が観えています。**

この展望所に、タクシーで観光して回っているらしいご婦人二人がいました。



その運転手

に、**身延山****久遠寺**への、最もいいルートを尋ねると、横にいたご婦人たちが、「私たちは、ほんの先ほどそこを訪れて来たばかりよ」...とおっしゃる。そして、持っておられた「久遠寺のパンフレット」を、私たちにくれたのです。声をかけてみて良かったと思ったものです。



この本栖湖

には、**千円札の図柄のような富士山**を撮影してみたい!!

.....そう思って出掛けてきたのでした。

まァ...それらしい写真がちょっとは撮れたかなと思っているのですが?!? .....

こうして本栖湖を11:20ころに出発し、**身延山**を目指し山道に入りました。

車窓から時折り、雪を戴いた南アルプスの山々が観え隠れしています。



そうした景色を観ながら走っていると、ほどなく「道の駅」が現れたのです。



□11:40□道の

駅 下部(しもべ)に入り休憩をとることにしました。

そこに「そば処 木喰庵」があったので、昼食をとることにしたんです。



この「道の  
駅 下部」から30分ほど走ったでしょうか...見延山ロープウェイ乗り場に到着です。



□駐車場から、  
短い距離のエスカレーターに乗ると、そこは久遠寺の境内でした。



その奥に身  
延山の山頂行きのロープウェイ乗り場「久遠寺駅」がありました。



まず、身延山の山頂へ行くことにして、ロープウェイに乗り込みました。七分間ほどの空中散



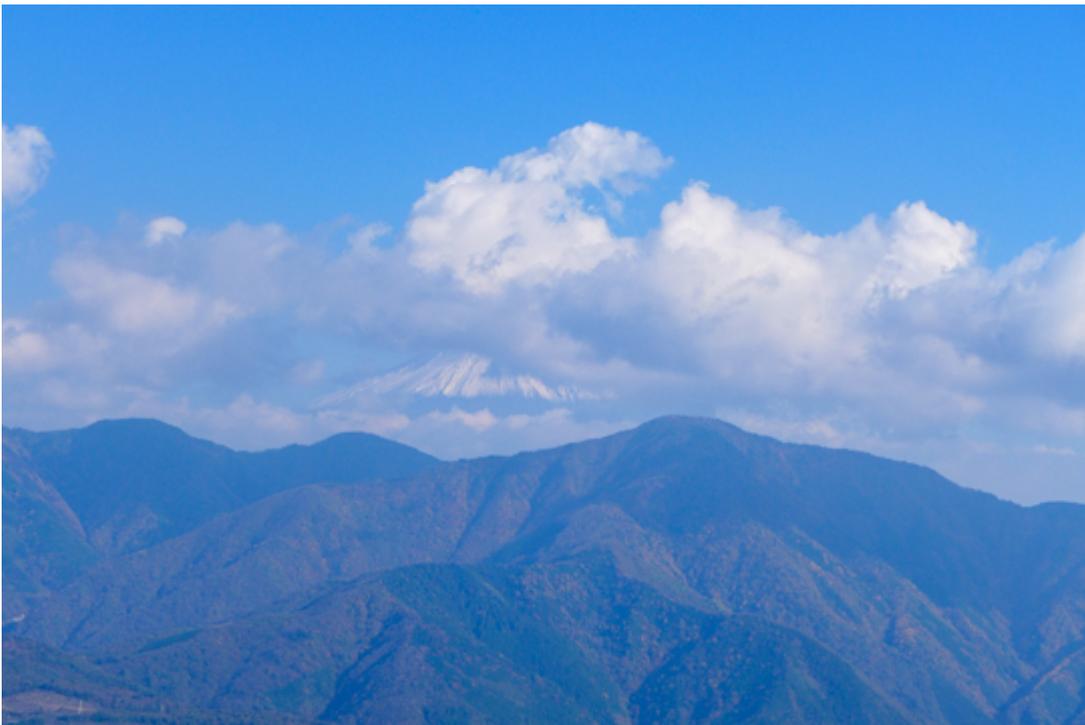
歩です。  
このロープウェイの高低差は763m、全長は1,665mだそうです。

こ



□富士山が、雲

の合間から少しだけ観えています。



眼下には、

富士川の流れが写っています。



こうして、

標高1,153mの山頂駅「奥の院駅」に到着です。



全国でも有

数の桜の名所だそうで、「しだれ桜」が綺麗なんだそうです。

下の写真は、身延山 久遠寺の「奥の院」です。



また、身延山からは、春と秋の数日 富士山の山頂から昇る太陽の「ダイヤモンド富士」を見ることが出来るそうです。この山頂からも、遠くに南アルプスが観えています。



山頂の売店には、「みのぶだんご」 別名 「苦死切りだんご」と呼ばれているものが、備長炭で焼いて売ってあります。「幸を呼び込むだんご」だそうで、記念にと「くるみ味噌だれだんご」を戴きました。





山を降りて、身延山久遠寺でひと休み... そして14:00 頃にここを後に河口湖へと戻ります。



その行程は、1時間40分ほどかかりそうです。

... 山越えの道はいろは坂、カーブの連続だが、山肌全体が紅葉をしていて、その美しさに退屈することはありませんでした。

途中 休憩がてらに「道の駅」に立ち寄りました。

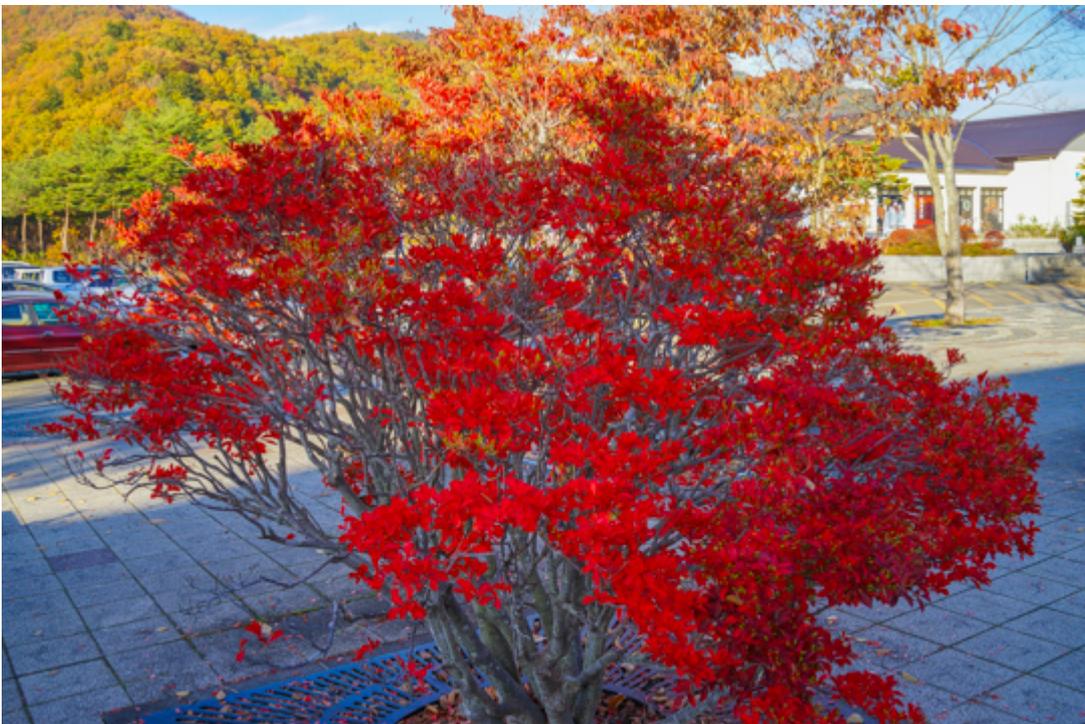
その横に「なるさわ富士山博物館」があったので、少しの見物です。



土産品店の  
スペースが多くて、ミュージアムとしての内容が少し薄かったと感じました。  
ただ、ここからも富士山が観えています。



□意外と近くに  
観えていて、少しは迫力ある撮影が出来たかなと思っています。



紅葉が、何  
とも言えない彩です。



こうして、道の駅を楽しんだ後、ホテルを目指しました。その途中GSで初めての給油をし、**日没ころの4時半過ぎ・今晚のお宿 「湯けむり富士の宿大池ホテル」 に着きました。**

早速、浴衣姿となって、5階の展望風呂に行ってみました。ここのお風呂は、一つの内湯のみです。ガラス窓から富士山が見えてはいますが、少し透明度に欠けるガラス越しなので、くっきりとは観えませんでした。

湯に浸かっていると、私と同じくらいの歳周りの男性から声をかけられました。その方が言うには「**冠雪した富士山を観たことがなかったので、家内と車で来た**」と。

**... 私たちと全く同じ思いで旅をしている方だったのです。**

さらにお歳も、私たちと一つ違いの71歳で、石川県の方でした。

**こうも同じ思いの方と出会うなんて、奇遇なことでした。**

夕刻6時 レストランへ出掛けてみると、広い会場です。

**出ないよね？**と思っていた刺身が並んでいます。

**それに、溶岩焼きの肉は、霜降り肉で美味しいです。**



レストラン

の仲居さんに聞いてみたんですね ... 「富士山の五合目あたりからだと、お山はどんなふうに見えるの？」とね。

そしたら、「観たことがなくて判りません」との返事。

地元に住いても判らないのか ... と、ぶつぶつ言っていましたら、お隣の席にいらした宿泊客の中年のご夫婦から、「それは、こんな状況よッ!!」って、「デジカメ」を私たちに渡し、撮ってこられたばかりの富士山の写真を、わざわざ見せて下さったのです。

そこには、凄く迫力のある富士山の姿が写っていましたね。

私たちも、時間を作って撮りに行きたいと思ったものです。

こうして、見ず知らずの方との語らいもあったりして、夕食は、ますます美味しく戴けました。

ご覧いただきましてありがとうございました。

...ではまた次回にお会いしましょう。